

# しら はま 白 浜

静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース 1号(H26.6)

## 今年<sup>てんぐさ</sup>の天草漁は？

静岡県は天草の有数な生産県です。天草漁を前に、当場が伊豆半島の9地区で生育状況を調べる潜水調査を行いました。調査結果は漁業計画と磯根管理のために役立てられます。調査の結果、昨年より生長が良好であり、今漁期の漁獲量は概ね良好と予察されました。(写真は、土肥のマクサ漁場)

解説：天草類は暖海に分布する海藻で、寒天の原料として世界的に採取されています。伊豆沿岸での漁業対象種はマクサ、オバクサ、ヒラクサ、ユイキリ、オニクサです。



## 稲取キンメダイ祭り

5月4日に伊豆漁業協同組合稲取支所で第34回水産祭が開かれました。稲取キンメをはじめ定置網で獲れたサバやイカなど地元水産物を目当てに県内外から多くの来場者で賑わいました。当场から水槽や酸素ボンベなどの機材を貸出し、当日釣ったキンメダイの泳ぐ様子が展示され注目を集めたほか、アンセリンに関する研究成果を掲示しました。



解説：アンセリンとはキンメダイに高い割合で含まれていることが判明したアミノ酸。疲労回復に効果があり、健康食品として販売されている。

## 熱海地区でヒラメ稚魚の放流

大熱海漁業協同組合は、5月19日に熱海市曾我浦地先と伊豆山地先でヒラメ稚魚の放流を行いました。放流したヒラメ稚魚は漁協が陸上水槽で中間育成してきたものです。漁協では、海の資源を守ることの大切さを地域の子供たちに学んでもらうため、放流の時に熱海市立第二小学校と熱海市立伊豆山小学校の児童の参加を得ています。当场は小学生にヒラメの生態や栽培漁業について説明しました。



6月の予定 ・ 天草漁場の改善のための雑藻駆除法の検討を行います。

- ・ 新成長戦略研究としてメタン発酵液を利用したスジアオノリの培養試験を始めます。
- ・ 6月中旬からマダイ放流のための中間育成作業が伊豆半島で始まり、巡回指導を行います。
- ・ 水産物と農産物のコラボ加工品開発のために、伊豆漁協とJA伊豆太陽との商品開発打合せを行います。

6月7日伊豆漁業協同組合本所(下田市)で水産祭り

**会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。**

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜 251-1

電話：0558-22-0835 FAX：0558-22-9330

アドレス：suigii-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu